

# 世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

愛称：ワールドサポーター

## 2020年3月の決算と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）愛称：ワールドサポーター」は、2020年3月12日に決算を迎え、当期の分配金を10円（税引前、1万口当たり）に引き下げましたことをご報告申し上げます。

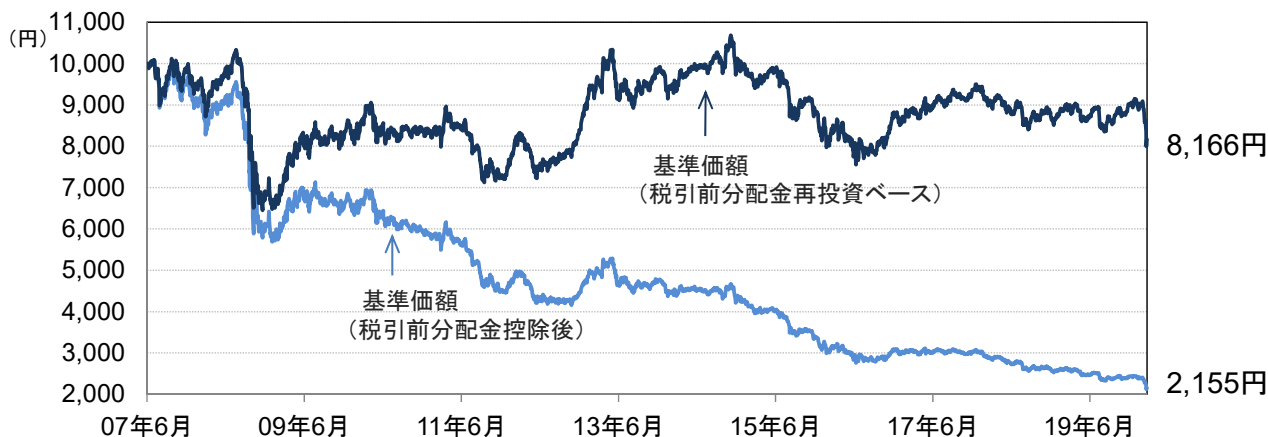
当ファンドは、毎月安定した収益分配をめざすという分配方針のもと、2016年2月からは毎月20円（同）の分配を行なってまいりましたが、市況動向や基準価額に対する分配金額の水準などを総合的に勘案し、分配金を引き下げてその差額を内部留保することで信託財産の成長をめざすことと致しました。

次ページ以降では、分配金額を変更した背景や当ファンドのパフォーマンス、今後の見通しなどについてQ&A形式でご説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



基準価額の推移（2007年6月21日（設定日）～2020年3月12日）



【分配金実績（1万口当たり、税引前）】

設定来合計	2007年8月～ 2012年10月	2012年11月～ 2016年1月	2016年2月～ 2020年2月	2020年3月
6,330円	60円/月	40円/月	20円/月	10円
				今回の決算

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q1：なぜ分配金額を変更したのですか？

World  
Supporter

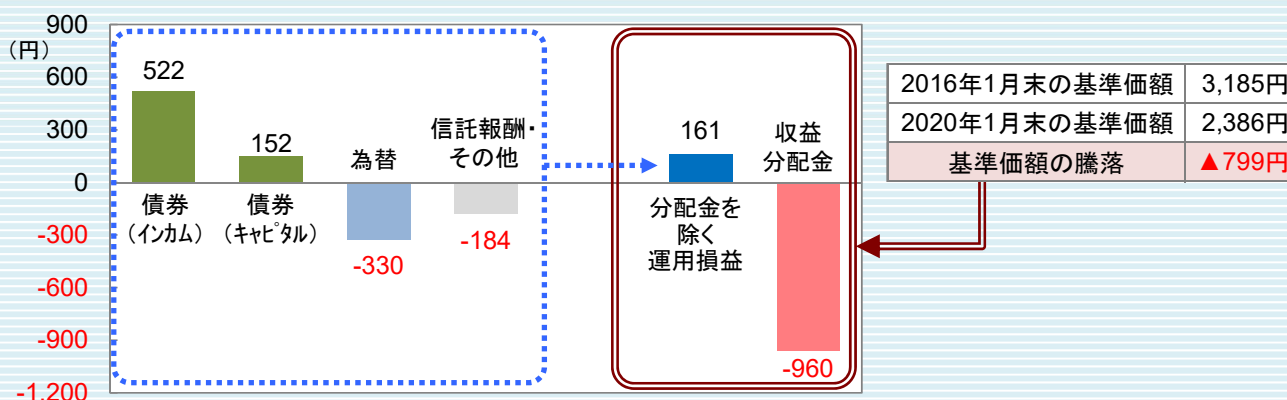
前回、分配金額を変更した2016年2月以降、当ファンドのパフォーマンス(税引前分配金再投資ベース)は概ね底堅く推移したものの、分配金の支払いなどに伴ない、基準価額(税引前分配金控除後)の水準が低下したためです。

分配金の支払いなどに伴って基準価額(税引前分配金控除後)の水準が低下する中、今後も安定的な収益分配を継続するため、今回の決算において、分配金を引き下げることに致しました。

**なお、引き下げられた分配金の差額分は信託財産に留保され、運用に振り向けられることから、今後、基準価額の下支え要因となります。**



基準価額騰落の要因分解 (2016年2月～2020年1月)



(単位:円)

年	債券		為替	信託報酬・その他	合計	収益分配金	年末の基準価額 (税引前分配金控除後)
	インカム収益	キャピタル収益					
2016年*	137	32	-20	-45	105	-220	3,070
2017年	143	29	84	-55	201	-240	3,031
2018年	109	28	-309	-44	-215	-240	2,576
2019年	121	56	-36	-37	105	-240	2,441
2020年*	12	6	-50	-3	-35	-20	2,386

\*2016年は2月以降、2020年は1月まで

- ※ 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。
- ※ 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様様に「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q2：2016年以降の運用状況を教えてください

World  
Supporter

2016年以降、当ファンドは様々な局面を乗り越え、概ね底堅いパフォーマンス(税引前分配金再投資ベース)となりました。

- 2016年以降の新興国債券は、米国の利上げや米中貿易問題など、様々な要因から調整する場面も多くみられました。しかし、新興国の堅調な経済成長に加え、先進国を中心とした低金利環境の継続が新興国債券市場の支えとなりました。そうした中、当ファンドの基準価額は1.0% (税引前分配金再投資ベース、2015年12月末～2020年1月末) 上昇しました。



基準価額の推移 (税引前分配金再投資ベース、2015年12月末～2020年1月末)



期間別基準価額騰落率 (税引前分配金再投資ベース)

期間 A

(2016年6月28日～  
2018年1月9日)

- 商品価格の上昇や世界経済の回復を受け、新興国のファンダメンタルズが改善
- 世界経済の拡大や緩やかな金利上昇が債券市場を下支え

**+25.7%**

期間 B

(2018年1月9日～  
2019年8月28日)

- 米国の利上げペースが加速するとの懸念から米長期金利が大幅に上昇
- 米中問題への警戒感と世界景気の減速懸念

**-12.1%**

期間 C

(2019年8月28日～  
2020年1月31日)

- 米中問題への過度な懸念の後退
- 米国において予防的利下げが実施される

**+6.8%**

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q3：ポートフォリオの状況を教えてください

World  
Supporter

過去1年における投資通貨の組入状況を見ると、2019年3～4月にかけて、各通貨の投資比率を大きく調整しました。インドネシアルピア、ロシアルーブル、南アフリカランドなどの比率を引き上げた一方、コロンビアペソ、ポーランドズロチ、トルコリラなどの比率を引き下げました。

### 引き上げ

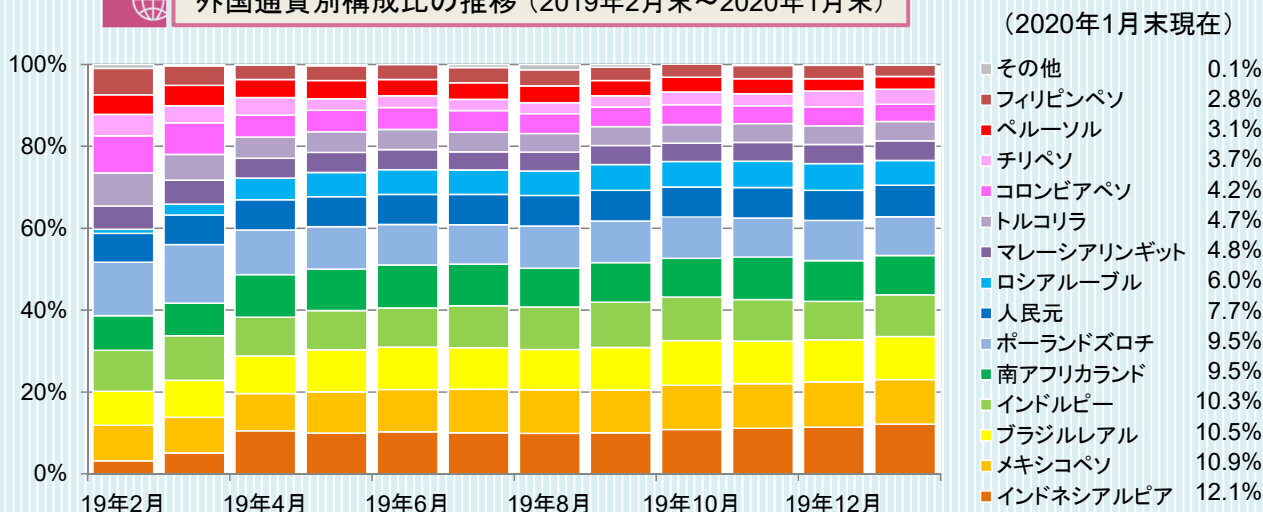
- ✓ 2018年の利上げにより、債券の実質金利（名目金利からインフレ率を差し引いた金利）が魅力的な水準にあったことから、**インドネシアルピア**の組入比率を引き上げました。2019年半ば以降は利下げに転じましたが、債券価格の上昇が期待されたことから、足元でも組入比率を高めています。
- ✓ **ロシア**では近年信用力の改善が進んでおり、2019年2月には、主要格付会社3社全てから投資適格級の格付を付与されました。また、同国債券の利回り水準は相対的に高く、投資魅力があります。

### 引き下げ

- ✓ **コロンビアペソ**引き下げの背景には、主要輸出品である原油価格の下落や、経常赤字の拡大などがあります。ただし、相対的な利回りの高さや原油価格の上昇期待などから、一定の組入比率を維持しています。
- ✓ **ポーランドズロチ**は、軟調であったユーロの影響を大きく受けることから、組入比率を引き下げました。ただし、同国の経済活動は総じて堅調であり、期間中、ズロチはユーロを上回る推移となりました。



外国通貨別構成比の推移（2019年2月末～2020年1月末）



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元のポートフォリオの状況は下記の通りです。



主要投資対象ファンド\*について

\*「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

【ポートフォリオ特性値】

(2020年1月末現在)

ポートフォリオの最終利回り	5.17%
ポートフォリオの直接利回り	5.26%
ポートフォリオの平均残存年数	1.07年

※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからの情報をもとに作成しています。

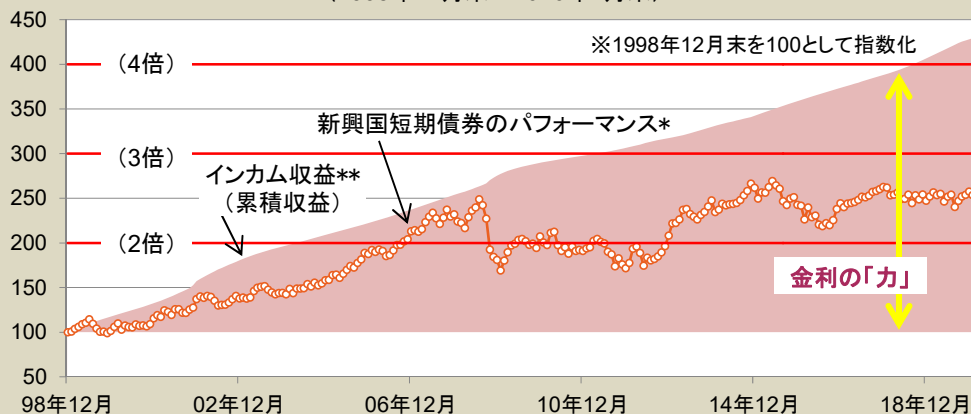
ご参考

投資成果を下支えするインカムの力

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら**相対的に高いインカム収益を獲得することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するために、短期債券を中心に投資を行ないます。

(ご参考)【新興国短期債券のパフォーマンス(円ベース)】

(1998年12月末～2020年1月末)



\* 新興国短期債券のパフォーマンスは、債券価格とインカム収益を合わせた総合的な投資成果を表します。

\*\* インカム収益は、下記インデックスの月末の利回りを用いて日興アセットマネジメントが計算

※新興国短期債券：JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(米ドルベース)を円換算

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

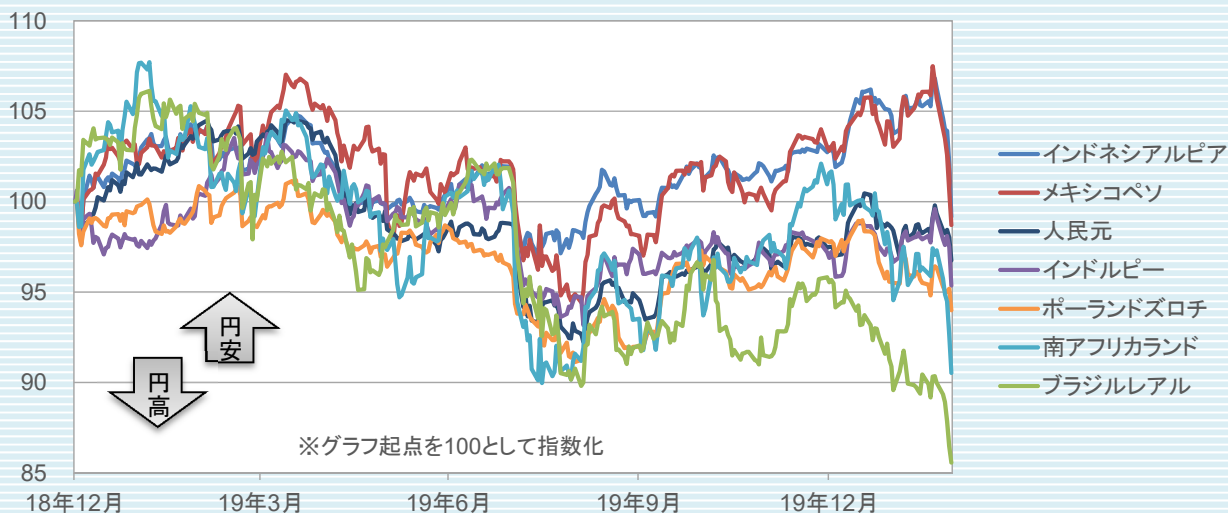
当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

**(ご参考) 投資通貨の推移と金利水準**

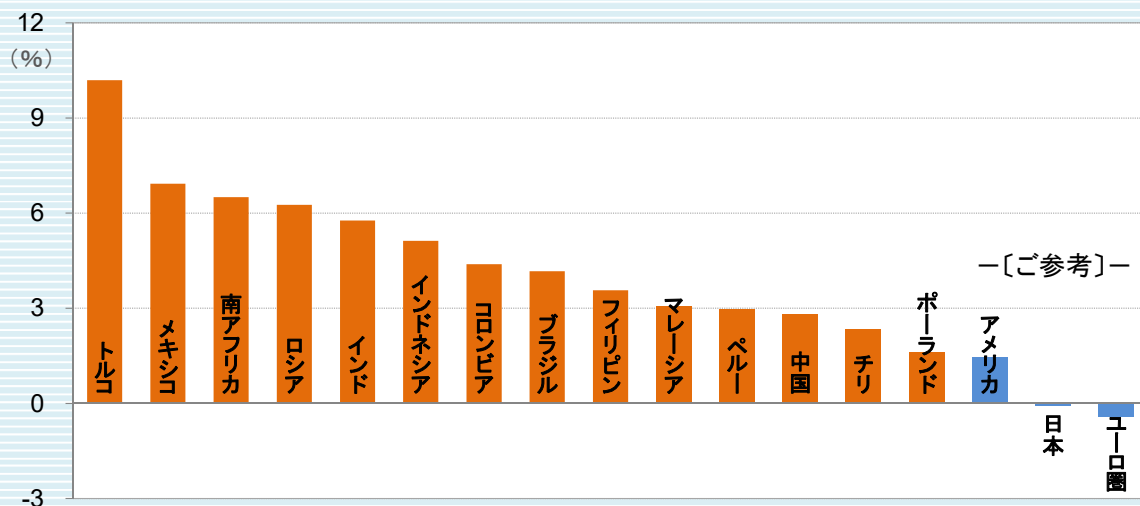
World  
Supporter



主な投資通貨の為替相場(対円レート)の推移 (2018年12月31日～2020年2月28日)



投資国通貨の短期金利(3カ月物) (2020年2月末現在)



※ 上記は、2020年1月末時点における、当ファンドの主な投資国通貨の為替相場(対円レート)の推移および金利水準を示しています。また、上記の金利水準は、実際の組入債券のものとは異なります。

※ ポートフォリオの利回りは、当ファンドの主要投資対象である「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」のデータです。

※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q4：主な投資通貨国の状況について教えてください。

World  
Supporter

### インドネシア

- 2019年半ば以降、同国では政策金利が段階的に引き下げられたものの、同国債券の実質利回りは比較的高い上、通貨ルピアの相対的な変動率の低さも魅力の一つとなっています。
- 同国中央銀行は、景気は底打ちしたとしながらも、成長を重視した緩和的な姿勢を維持する方針を示しており、更なる利下げによる債券価格の上昇が期待されます。
- また、政策運営についてはジョコ政権による改革が足元で具体化しつつあり、期待感が高まっています。

### メキシコ

- 同国では、2018年まで政策金利の引き上げが続いたことから、新興国の中でも相対的に高い利回り水準を維持しています。2019年後半以降には、複数回の利下げを行なったものの、その利回り水準は未だに高い上、インフレ率が低いことから実質利回りが高水準であることが魅力的です。
- 今後も更なる利下げが行なわれる可能性はありますが、その場合には、債券価格の上昇が期待されます。

### ブラジル

- 同国では2019年後半以降、景気刺激のための利下げが複数回行なわれました。企業の資金調達コストが低下したことで民間投資が促進され、同国経済の構造的な成長ドライバーとなりました。
- 政策金利が史上最低水準まで低下したことで通貨リアルも軟調となり、経済成長も予想を下回りました。ただし、同国のインフレ率には落ち着きが見込まれることから、足元では**ほぼゼロとなった実質金利にも今後プラス圏への回復が見込まれる**ほか、**国内需要の改善から、今年後半には経済の回復が期待**されます。

### インド

- 近年、同国の経済成長は期待を下回るものでしたが、政府はこうした状況を踏まえ、景気テコ入れの方針を強めました。足元では**一部の経済指標に持ち直しの兆し**が現れています。
- 同国の財政収支は、国営企業の民営化によって財政負担が軽減される一方、減税による歳入減少などによって財政赤字の拡大が予想されます。しかし、**第2次モディ政権の構造改革や景気対策は、同国経済を回復に向かわせ、通貨ルピーを下支えする**と考えられます。

※ 上記は、2020年1月末時点の主な投資通貨国について記載しています。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q5：新興国市場の見通しについて教えてください。

World  
Supporter

### 新型コロナウイルスや米中問題の行方には注意が必要



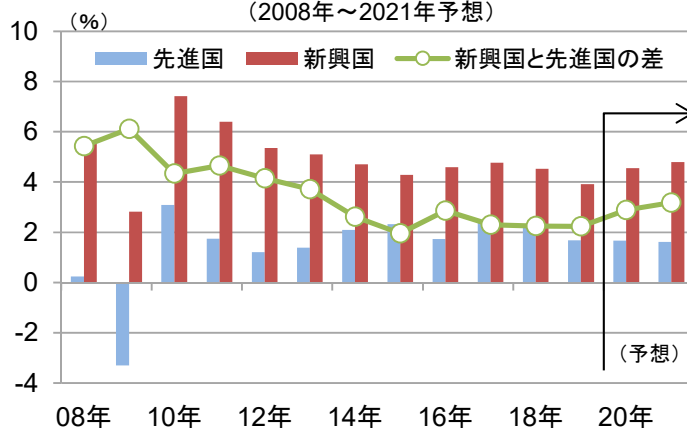
- 新興国市場において、現在最も懸念されるリスクは、新型コロナウイルスの感染拡大とみられます。感染の規模や深刻度については未だ不明な点も多く、収束の見通しも立たない状況です。しかし、発生地である中国では既に、財政・金融の両面で強力な政策対応が進められているほか、他の感染国でも財政出動や金融緩和などの景気刺激策への期待が高まっています。こうしたことから、**新型コロナウイルスによる経済への打撃は避けがたいものの、その影響は比較的短期なものにとどまると**考えています。
- もう一つの大きな不透明要因としては、米中問題の動向が挙げられます。トランプ米大統領の行動は予測不可能ですが、11月に大統領選挙を控える中、米国経済にダメージをもたらすようなリスクを冒すことはないと思込まれます。同時に、中国側も自国経済の更なる減速は望まないと考えられることから、**2020年中は、両国が何らかの妥協点を見出す可能性が高い**と考えています。

### 新興国の相対的に高い経済成長や債券の投資魅力は健在



- このように、新興国市場には依然として懸念材料があるものの、世界経済が減速感を強める中、**新興国の相対的に高い経済成長は投資家にとって魅力的に映ると**考えられます。IMFの見通しによると、2020年における先進国の経済成長は1.6%にとどまるとされる一方、新興国の経済成長率は4.4%となる見込みです。
- 新興各国の中央銀行は、景気浮揚に向けた緩和的な政策スタンスを維持すると見込まれ、それによって**新興国債券価格の押し上げ効果が期待**されます。また、多くの先進国で国債の利回りがマイナスとなる中、**新興国債券への投資は、より高い利回りを求める投資家にとって、有力な選択肢**となるでしょう。
- 当ファンドでは引き続き各国の状況を注視し、新興国市場を取り巻く状況を慎重に見極めながら、相対的に高い利回りと値上がり益の獲得をめざして運用を行なって参ります。

【実質GDP成長率(前年比)の推移】  
(2008年～2021年予想)



出所：IMF「World Economic Outlook, October 2019」、  
「World Economic Outlook Update, January 2020」

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## Q6：引き下げられた分配金はどうなるのですか？

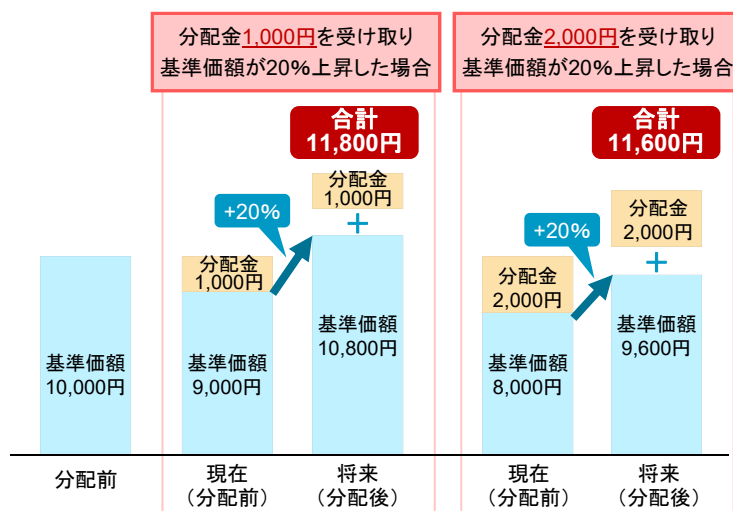
ファンドの信託財産として留保され、運用に振り向けられます。

分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

運用者は、留保された資金をもとに、より多くの投資を行なうことが可能となります。

なお、投資資産の値上がりなどを通じて基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払って基準価額が低くなった場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。

### <分配金額の違いによる基準価額上昇時のイメージ>



※上記はイメージ図です。

## Q7：分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がよいですか？

分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。ファンドの運用成績は、トータルリターンで考えていただくことが重要です。

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

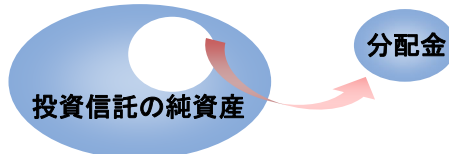
ファンドで得られた収益などをどのように配分する(分配金として支払う／内部留保として投資に振り向ける)かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、**基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支(＝トータルリターン)をもって行なうことが、重要であると考えます。**

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

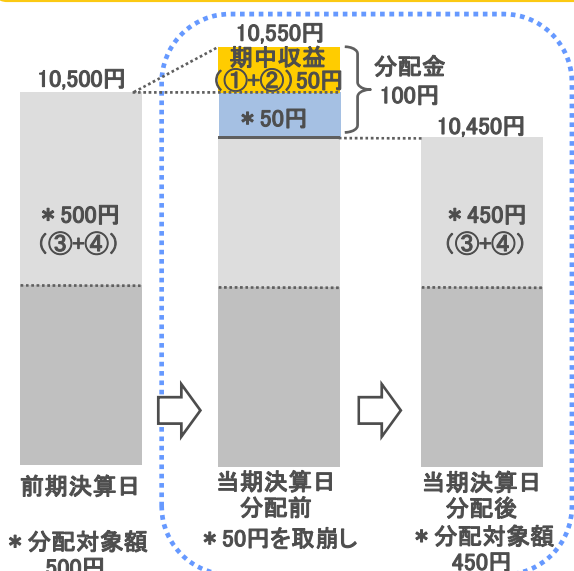
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



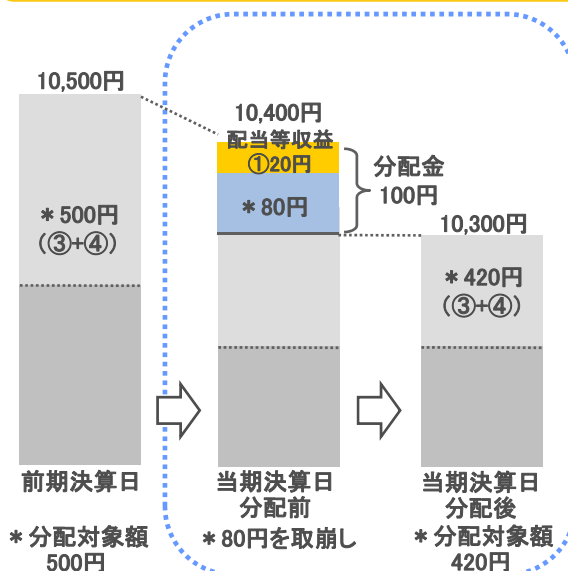
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

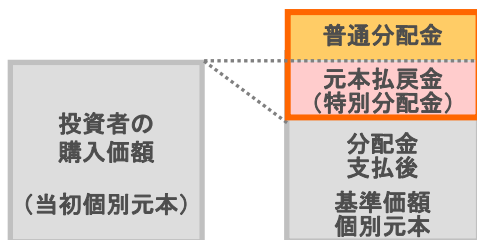


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

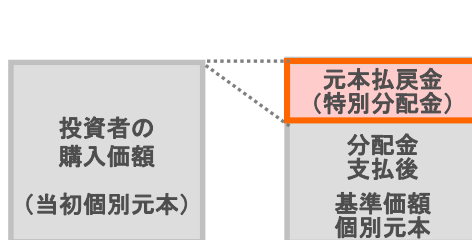
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## 【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2007年6月21日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日                      ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日                              ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.313%(税抜1.223%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.99%(税抜0.90%)、投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.323%程度となります。 当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 【お申込みに際しての留意事項】

### リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 【委託会社、その他関係法人】

### 委託会社

日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

### 受託会社

野村信託銀行株式会社

### 販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
〔ホームページ〕 [www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)  
〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
株式会社さらばし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○	○	
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。